第１６次第４回苫小牧市廃棄物減量等推進審議会　会議録（概要版）

日時：令和８年１０月２８日（水）午後３時３０分～午後３時５０分
場所：JFE カエルみらい館　２階　大会議室
出席者：委員１０名
　　環境衛生部長、ゼロごみ推進室長、ゼロカーボン推進担当課長、ゼロごみ推進課長、
　　ゼロごみ推進課長補佐、廃棄物処理課長補佐、その他事務局５名

１　開会

２　報告

（１）計画体系見直しと審議会再編について

事務局より資料１について説明。

以下、質疑応答。

＜委員Ａ＞
　三つの審議会が統合されることで審議事項の種類が増え、審議に時間がかかるのではないか。事前に審議事項や資料を配布してもらえると、審議時間を効率よく使えるのではないかと思うがどうか。

＜事務局＞
　ご意見ありがとうございます。審議事項の内容について、資料の事前配布ということですので、今後そういった形で新環境審議会あるいはそれに紐づく部会の方で、しかるべき時期に事前に配布するようにはいたしますのでご理解いただければと思います。

＜委員Ｂ＞
　再編後は審議会の委員を 48 名から 20 名程度にするとのことだが、公募や選考はどのように行う予定か。また、部会の部員の数もかなり減ってしまうことで、多様な意見が聞けなくなるなどの弊害はないか。

＜事務局＞
　環境審議会の委員定員については 20 名以内を想定しており、公募委員の募集や、しかるべき団体への推薦依頼などを予定しております。来年度の条例改正時に改めてご案内いたします。また、現在の環境審議会の定数も 20 名であり、統合後も基本的には 20

名以内の環境審議会で議論を行っていただきます。専門的な意見などについては、必要に応じて専門部会において委員（5 名程度）に加え外部から専門知識を持つ方を招聘するなどして審議を行い、審議会へ戻して協議してもらうような形で、基本的には 20 名以内の当審議会で議論を行っていただく形に変更はございません。

＜委員Ｃ＞
再編後の新環境審議会の定員が 20 名、その下の部会については特に定員が決まっていないということでよろしいか。また、現在のこの審議会は 18 名いるが、そのメンバーがそっくり改編後に部会の方に移るというわけではないという認識でよろしいか。

＜事務局＞
はい、その通りでございます。

３　その他

事務局より資料２について下記のとおり説明。
～説明概要～
し尿処理手数料等について、現在、市では様々な施設や行政サービスの利用に伴う使用料・手数料の見直しを進めているところであるが、本件の一連の見直しには含まれていない。一方で、し尿処理手数料は平成 9 年以降改定していない状況であることから、他市の動向や昨今の物価高騰・労務単価の上昇等も踏まえ、現在の手数料が適正な水準にあるのか検証中であり、内容がまとまり次第改めて説明する。

以下、質疑応答。

＜委員Ｂ＞
下水道処理区域内と区域外というのは、具体的にどういうことか教えてほしい。

＜事務局＞
下水道法上の処理区域内、つまり下水道が整備されている区域と、そうでない区域（くみ取り式など）があり、その区域内と区域外で料金が異なる状況となっております。

４　閉会

事務局より、下記のとおり事務連絡。
・次回の開催時期は未定であるが、詳細が決まり次第改めて案内する
・審議会終了後、JFE カエルみらい館の施設見学を実施